

I. 2024 年度事業報告

(1) 学術集会等（研究発表）の開催

●第110回総会（徳島）

会長：高山 哲治（徳島大学大学院医歯薬学研究部消化器内科学分野 教授）

会期：2024 年 5 月 9 日（木）～ 5 月 11 日（土）

会場：アスティとくしま、徳島文理大学（徳島市）

内容：会長講演（1）

- ・大腸癌発生機序の解析と予防薬・治療薬の開発

理事長講演（1）

特別講演（3）

- ・がん治療のこれまでとこれから
- ・微生物、免疫系、分子病理、環境、栄養を含めた包括的消化器癌研究の進化と真価（キャリアデザインへのヒントのおまけ）
- ・癌と老化における細胞老化の役割とその制御：微生物の関与について

特別企画（5）

- ・AI を用いた消化器診療はどこまで進んだのか？
- ・世界に挑戦する日本の内視鏡 AI
- ・肝臓領域における AI
- ・情報支援下内視鏡手術の現状と未来展望
- ・まとめと今後の展望

学術賞受賞講演（1）

- ・自己免疫性膵炎における IgG4 関与の解明と IgG4 関連疾患の疾患概念確立への貢献

臨床研究助成成果報告（3）

- ・免疫関連副作用 immune-related Adverse Events(irAE) 腸炎の自己抗体の同定
- ・クローン病に対する生物学的製剤による小腸粘膜治癒検討（SEBIO study）
- ・80 歳以上の早期胃癌患者に対する生命予後・QoL 低下予測システムの開発と確証

メディカルスタッフ特別企画

- ・働き方改革とメディカルスタッフの復職支援への取り組み（6）

キャリア支援委員会特別企画

- ・多様性時代を生きる医師の働き方を考える
～働き方改革も踏まえて～（14）
- ・第6回若手優秀演題カンファレンス—症例に学ぶ

キャリア支援委員会ネクストジェネレーションズWG企画

医師の働き方改革元年！迷える不惑世代がのぞむ消化器道の進み方シンポジウム（14）（演題：163 題）

- ・AI を用いた消化器疾患の診断・治療への応用（10）
- ・癌ゲノム医療の成果と課題（8）
- ・消化器疾患における腸内細菌叢の解析；病態解明と診療展開（13）
- ・進行胃癌に対する免疫療法と分子標的治療の新展開（11）
- ・*H. pylori* 陰性時代の上部消化管疾患（13）
- ・消化管腫瘍に対する新しい内視鏡診断技術の発展（13）
- ・潰瘍性大腸炎の個別化治療～基礎から臨床まで～（14）

- ・切除不能進行再発大腸癌の治療戦略（11）
- ・小腸腫瘍の内視鏡診断・治療の最前線（10）
- ・自己免疫性膵炎・IgG4 関連硬化性胆管炎の病態解明と診療戦略（11）
- ・膵癌の分子異常と個別化治療（11）
- ・NASH の病態解明に基づく診療戦略（13）
- ・進行肝臓の個別化治療戦略（14）
- ・急性肝不全およびその類縁疾患の病態と治療戦略（11）

パネルディスカッション（14）（演題：165 題）

- ・神経内分泌腫瘍の新しい治療戦略（13）
- ・ロボット手術の現状、課題と今後の展開（8）
- ・自己免疫性胃炎の病態解明と診療展開（13）
- ・アレルギー性および薬剤性消化管疾患の病態と診療の展開（12）
- ・消化管癌に対する新しい内視鏡治療戦略（12）
- ・機能性消化器疾患の病態解明と臨床展開（13）
- ・抗血栓薬内服者に対する消化器内視鏡治療のマネジメント（12）
- ・クローン病の病態に応じた治療戦略（12）
- ・切除不能膵癌のコンバージョン治療の最前線（8）
- ・Interventional EUS の現状と展開（14）
- ・慢性膵炎診療をめぐる諸問題（10）
- ・非代償性肝硬変の課題克服を目指して（15）
- ・B 型肝炎の克服を目指した基礎・臨床研究（12）
- ・自己免疫性肝疾患の病態解明と診療展開（11）

ワークショップ（14）（演題：168 題）

- ・知っておくべき消化器希少疾患：その臨床像と病態（15）
- ・消化器疾患と再生医療の最前線（11）
- ・リキッドバイオプシーがもたらす新たな消化器病治療戦略（7）
- ・オルガノイドが切り拓く消化器病研究新時代（8）
- ・消化器腫瘍の分子イメージング診断と治療の展望（10）
- ・消化器移植医療の現状と今後の展開（12）
- ・食道胃接合部腺癌の病態、診断、治療の最前線（11）
- ・十二指腸非乳頭部腫瘍の内視鏡治療の最前線（13）
- ・進行食道癌の新しい治療戦略（12）
- ・大腸鋸歯状病変の病態解明と診療戦略（14）
- ・膵癌早期診断の試み（14）
- ・胆道癌の分子異常と治療の新展開（14）
- ・肝硬変の新しい診断法とリスク評価（14）
- ・肝細胞癌の病態解明のためのトランスレーショナルリサーチ（13）

ハンズオンセミナー（2）

- ・ファントム機器を用いた胆膵超音波内視鏡検査
- ・ブタ胃を用いた内視鏡的粘膜下層剥離術（胃癌の内視鏡治療）

ポストグラデュエイトコース（10）

I. 基本的事項

II. 上部消化管

III. 下部消化管

IV. 肝

V. 胆膵

The 13th International Forum of The Japanese Society of Gastroenterology

The 15th JSGE-UEG Rising Stars Session

The 13th Asian-Pacific Topic Conference

一般演題（プレナリー） 演題：30 題

一般演題（口演） 演題：229 題

一般演題（ミニオーラル） 演題：267 題

参加：6,724 名

●第66回大会（神戸）（JDDW2024に参加）

会長：坂本 直哉（北海道大学大学院 消化器内科学）

会期：2024年10月31日（木）～11月2日（土）（JDDW 期間：10月31日～11月3日）

会場：神戸コンベンションセンター

内容：会長講演（1）

- ・ウイルス性肝炎・肝癌研究のこれまで・現在地と将来展望

特別講演（6）

- ・宇宙時代の医療・医学研究
- ・ムーンショット微小炎症プロジェクトの基礎：
IL-6 アンブとゲートウェイ反射
- ・腸内細菌の理解と疾患治療への応用
- ・睡眠の謎に挑む：原理の追求から社会実装まで
- ・肝前駆細胞エクソソームによる肝疾患治療
- ・宿主-腸内細菌叢相互作用と疾患

招待講演（12）

- ・Therapeutic approaches to viral hepatitis
- ・Immune microenvironment in liver cancer - the importance of metabolic alterations in health and in disease
- ・Portal hypertension in cirrhosis: Risk stratification and management
- ・Therapeutic goals for treat-to-target strategies in IBD
- ・Prognostication of metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease by non-invasive tests
- ・Strategies and actions to eliminate HBV infection
- ・The future outlook of systemic therapy integration in early-stage and intermediate-stage HCC
- ・Simplified treatment criteria for chronic hepatitis B to prevent hepatocellular carcinoma
- ・Paradigm shift in HBV treatment guidelines
- ・Personalized treatment and long-term safety issues of H. pylori eradication for gastric cancer prevention
- ・News in management of chronic pancreatitis
- ・Optimal treatment selection for HCC in the era of immunotherapy

第66回日本消化器病学会大会一般演題会長賞(1)

- ・肝硬変、肝性脳症における小腸微生物叢 DYSBIOSIS と治療的介入の可能性

教育講演（JDDW）（8）

- ・H. pylori 除菌後胃癌の現状と課題—長期予後を含む—
- ・大腸憩室に対する診断・治療の最前線
- ・自己免疫性肝・胆道疾患のマネジメント
- ・膵がん早期診断の最前線
- ・好酸球性上部消化管疾患の診断と治療
- ・IBD 診断における内視鏡の鑑別ポイントとバイオマーカー
- ・MASLD/MASH の診断と治療—「奈良宣言」を踏まえた肝疾患診療—

- ・胆膵領域における内視鏡的インターベンションの進歩

第24回医療セミナー（JDDW）（6）

- ・医療AI の臨床応用～基礎研究から社会実装まで～
- ・生成AI と医療倫理
- ・AI・シミュレーションによる創薬DX
- ・AI が齎す未来のカルテ
- ・AI を用いた内視鏡の将来と限界
- ・外科診療におけるAI の活用

JDDW2024 女性医師・研究者プログラム（JDDW）（9）

女性医師・研究者に対する equity を実現するには？

- ・5 人の子持ち女医としての道のりと、近畿支部女性内視鏡医の会での取り組みについて
- ・中堅世代としての経験と現状、上司に望むこと、さらに若い世代への提言、四国支部での活動など、diversity, inclusion, equity
- ・地域中核病院における大学病院との連携による equity を目指した取り組み
- ・大学病院における医療教育の立場から DE&I (Diversity, Equity&Inclusion) を考える
- ・大学教育における DE&I 推進の可能性
- ・小児消化器病学の立場から diversity, inclusion, equity を考える
- ・外科医を増やすための教室での取り組み
- ・消化器一般移植外科教室運営における diversity, inclusion, equity
- ・特別発言

JDDW2024 特別企画（10）

- ・胃食道接合部をもっと知ろう！

メディカルスタッフプログラム（JDDW）（2）（演題：19 題）

- ・医師の働き方改革とチーム医療（9）
- ・これからの地域医療を支える多職種連携（10）

統合プログラム（6）（演題：64 題）

- ・高齢者消化器がんに対する診断と低侵襲治療の現状と課題 ⑨
- ・肝胆膵癌の集学的治療（9）
- ・消化器がん早期診断の現状と未来（12）
- ・がんゲノム医療の功罪（12）
- ・医療経済の観点からみた消化器診療の方向性（10）
- ・医療DX が切り開く消化器診療の未来（12）

消化器内視鏡学会特別企画【English】（1）

- ・低侵襲内視鏡治療の最前線 1 & 2《ビデオ》(22)

肝臓学会特別企画(1)

- ・奈良宣言から1年半が経って(12)

International Session (Symposium)（4）（演題：33 題）

- ・先端的分子プロファイリングと消化器疾患（9）
- ・今後の肝炎対策はどうあるべきか（7）
- ・脂肪性肝疾患診療の新展開（8）
- ・アジアにおける肝細胞癌のサーベイランスと治療（9）

International Session (Panel Discussion)（2）（演題：21 題）

- ・IBD 治療のモニタリングと治療目標(8)
- ・下部消化管出血に対する内視鏡治療(13)

International Session (Workshop) (3) (演題：34 題)

- ・アジアにおけるウイルス肝炎治療戦略(6)
- ・肝疾患に対する内視鏡の夜明け(14)
- ・内視鏡切除と縫合閉鎖の最前線(14)

Strategic International Session (3) (演題：16 題)

- ・非腫瘍性の上部消化管疾患に対する内視鏡アプローチ(7)
- ・食道胃接合部癌に対する集学的治療 - 地域間・専門領域間の類似点と相違点(5)
- ・大腸癌および痔瘻スクリーニングの進歩：集学的アプローチ(4)

シンポジウム(14) (演題：143 題)

- ・ウイルス肝炎診療 A to E の最新知見 (9)
- ・肝臓がん薬物療法の変える未来 (10)
- ・肝疾患に対する再生医療：現状と課題 (12)
- ・Indeterminate biliary strictures に対する内視鏡診断の現状と新展開 (11)
- ・進行肝細胞癌治療の到達点と将来展望 (10)
- ・代謝関連肝細胞癌のフロンティア (9)
- ・上部消化管出血に対する内視鏡治療 (14)
- ・肝門部領域胆管癌に対する治療戦略 (10)
- ・肝硬変—最近の話題— (10)
- ・膵癌に対するロボット支援下手術 (9)
- ・炎症性腸疾患の病態解明に向けた研究の展開 (12)
- ・局所進行直腸癌治療の最前線 (10)
- ・ヘリコバクター・ピロリ陰性時代の上部消化管診療の現状(10)
- ・進行食道癌コンバージョン手術の現状と展望(7)

パネルディスカッション(10) (演題：110 題)

- ・内視鏡を活用した炎症性腸疾患の T2T (14)
- ・QOL に配慮した消化管狭窄に対する治療戦略(12)
- ・内視鏡診療における鎮静の課題と展望(10)
- ・食道癌治療選択における集学的検討(13)
- ・薬物と肝—最近の話題—(10)
- ・上部消化管癌に対するロボット支援下手術の工夫(11)
- ・自己免疫性膵炎診療の現状と課題(10)
- ・超高齢者に対する進行消化器癌外科手術の在り方(10)
- ・膵癌手術成績向上への取り組み(10)
- ・地域実地医療における内視鏡検診の新たな挑戦(10)

ワークショップ(18) (演題：207 題)

- ・肝疾患のゲノム・エピゲノム研究の近未来 (11)
- ・精度向上を目指した胃がん検診の取り組み～組織型検診の実現を見据えて～ (7)
- ・精度向上を目指した大腸がん検診の取り組み～組織型検診の実現を見据えて～ (7)
- ・門脈圧亢進症治療最前線 (13)
- ・肝臓・消化器領域における新興・再興感染症 (13)
- ・ロボット支援肝切除術の導入と未来 (11)
- ・大腸癌に対するロボット支援下手術の手技と治療成績《ビデオ》 (10)
- ・消化器がん進展制御に関わる組織微小環境 (10)
- ・小腸内視鏡診療の新展開 (13)
- ・大腸 T1 癌治療の問題点と展望—内科・外科・病理のクロストーク(10)

- ・肝胆膵癌の新たな診断モダリティと展望(12)
- ・ウイルス肝炎診療—今後の課題— (17)
- ・*Helicobacter pylori* 陰性胃癌の最前線—臨床病態から分子病理の新知見(12)
- ・腸内細菌と消化器疾患 (11)
- ・胆膵内視鏡治療の新規機器開発 (13)
- ・未来の膵胆道癌診療に向けた基礎研究と臨床研究の融合 (11)
- ・ICI 時代の胃癌治療 (11)
- ・新たなコンセプトに基づいた内視鏡診断 (15)

一般演題 (デジタルポスター) 演題：348 題

一般演題 (International Poster) 演題：92 題

ブレイクファーストセミナー

ランチョンセミナー

サテライトシンポジウム

ハンズオンセミナー

参加：24,311 名

●支部例会

全国 10 支部で学術集会（講演、研究発表、症例報告など）を開催。

【北海道支部】

第 134 回例会（札幌）

会長：藤井 常志（旭川赤十字病院 消化器内科）

会期：2024 年 3 月 2 日（土）～3 日（日）

会場：北海道大学医学部学友会館「フラテ」（ハイブリッド開催）

内容：特別講演、合同シンポジウム、一般演題、女性医師の会企画、ランチョンセミナー、モーニングセミナー

専門医セミナー：45 名

演題：100 題

参加：617 名

第 135 回例会（札幌）

会長：平野 聡（北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室 II）

会期：2024 年 8 月 31 日（土）～9 月 1 日（日）

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌大通（ハイブリッド開催）

内容：特別講演、合同シンポジウム、一般演題、ランチョンセミナー
専門医セミナー：44 名

演題：64 題

参加：600 名

【東北支部】

第 216 回例会（仙台）

会長：新田 浩幸（岩手医科大学医学部 外科学講座）

会期：2024 年 2 月 3 日（土）

会場：フォレスト仙台

内容：シンポジウム、特別企画、一般演題、ランチョンセミナー、
専攻医セッション

専門医セミナー：26 名

演題：104 題

参加：489 名

第 217 回例会（仙台）

会長：片寄 友（東北医科薬科大学外科学第一（肝胆膵外科））

会期：2024 年 7 月 5 日（金）
会場：フォレスト仙台
内容：シンポジウム、一般演題、専攻医セッション、ワークショップ
ランチョンセミナー、特別企画
専門医セミナー：14 名
演題：88 題
参加：368 名

【関東支部】

第 378 回例会（東京）
会長：加藤 広行（桐生厚生総合病院）
会期：2024 年 2 月 17 日（土）
会場：海運クラブ
内容：特別講演、ランチョンセミナー、一般演題
専門医セミナー：41 名
演題：85 題
参加：347 名

第 379 回例会（東京）
会長：小金井 一隆（横浜国立市市民病院 炎症性腸疾患センター）
会期：2024 年 4 月 27 日（土）
会場：海運クラブ
内容：特別講演、ランチョンセミナー、一般演題
演題：82 題
参加：404 名

第 380 回例会（東京）
会長：黒崎 雅之（武蔵野赤十字病院）
会期：2024 年 7 月 27 日（土）
会場：海運クラブ、WEB ライブ配信
内容：特別講演、特別企画、一般演題
演題：90 題
参加：669 名

第 381 回例会（東京）
会長：糸井 隆夫（東京医科大学 消化器内科）
会期：2024 年 9 月 7 日（土）
会場：海運クラブ、WEB ライブ配信
内容：特別講演、ランチョンセミナー、一般演題
専門医セミナー：98 名
演題：106 題
参加：685 名

第 382 回例会（東京）
会長：新井 誠人（東京女子医科大学八千代医療センター 消化器内科）
会期：2024 年 12 月 14 日（土）
会場：海運クラブ
内容：特別講演、特別企画、キャリア支援の会、一般演題、
ランチョンセミナー
演題：90 題
参加：556 名

【甲信越支部】

第 74 回例会（長野）

会長：一條 哲也（安曇野赤十字病院 消化器内科）
会期：2024 年 5 月 25 日（土）～26 日（日）
会場：ホテルブエナビスタ
内容：合同ワークショップ、一般演題
専門医セミナー：202 名
演題：34 題
参加：284 名

第 75 回例会（長野）

会長：菅 智明（諏訪赤十字病院 消化器内科）
会期：2024 年 10 月 12 日（土）～13 日（日）
会場：ホテルブエナビスタ
内容：合同ワークショップ、シンポジウム、一般演題
専門医セミナー：62 名
演題：71 題
参加：291 名

【北陸支部】

第 137 回例会（福井）
会長：須藤 弘之（福井勝山総合病院）
会期：2024 年 6 月 16 日（日）
会場：福井大学医学部講義棟
内容：一般演題
専門医セミナー：122 名
演題：49 題
参加：179 名

第 138 回例会（石川）
会長：高村 博之（金沢医科大学 一般・消化器外科）
会期：2024 年 10 月 20 日（日）
会場：金沢医科大学病院 北辰講堂・橘ホール
内容：一般演題、ランチョンセミナー
専門医セミナー：161 名
演題：43 題
参加：170 名

【東海支部】

第 140 回例会（名古屋）
会長：瀧口 修司（名古屋国立大学 消化器外科学）
会期：2024 年 6 月 22 日（土）
会場：ウインクあいち
内容：ビデオセミナー、男女共同参画の会、シンポジウム、一般演題
専門医セミナー：82 名
演題：121 題
参加：581 名

第 141 回例会（三重）
会長：間山 裕二（三重大学大学院医学系研究科 消化管・小児外科学）
会期：2024 年 11 月 16 日（土）
会場：アストプラザ・ホテルグリーンパーク津
内容：シンポジウム、一般演題
専門医セミナー：85 名
演題：86 題

参加：375 名

【近畿支部】

第 120 回例会（兵庫）

会長：福本 巧（神戸大学大学院医学研究科外科学講座 肝胆膵外科学分野）

会期：2024 年 1 月 27 日（土）

会場：神戸国際会議場

内容：シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ

一般演題、女性医師・若手医師キャリア支援計画

専門医セミナー：16 名

演題：172 題

参加：683 名

第 121 回例会（京都）

会長：妹尾 浩（京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座）

会期：2024 年 9 月 28 日（土）

会場：京都テルサ

内容：シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、一般演題

Freshman Session、Young Investigator Session

専門医セミナー：30 名

演題：201 題

参加：854 名

【中国支部】

第 121 回例会（鳥取）

会長：藤原 義之（鳥取大学医学部 消化器・小児外科学）

会期：2024 年 6 月 8 日（土）

会場：米子コンベンションセンター

内容：特別講演、エキスパートセミナー、ランチョンセミナー

イブニングセミナー

専門医セミナー：23 名

演題：71 題

参加：260 名

第 122 回例会（岡山）

会長：高木 章乃夫（岡山大学学術研究院医歯薬学域肝・腎疾患連携推進講座）

会期：2024 年 12 月 14 日（土）～15 日（日）

会場：岡山コンベンションセンター

内容：特別講演、ワークショップ、一般演題、特別企画

専門医セミナー：42 名（会長：岸 和弘）

演題：88 題

参加：588 名

【四国支部】

第 121 回例会（徳島）

会長：森根 裕二（徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器・移植外科学）

会期：2024 年 6 月 8 日（土）～9 日（日）

会場：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

内容：シンポジウム、一般演題、特別講演、特別企画

専門医セミナー：111 名

演題：62 題

参加：318 名

第 122 回例会（愛媛）

会長：阿部 雅則（愛媛大学大学院 地域医療学）

会期：2024 年 11 月 30 日（土）～12 月 1 日（日）

会場：松山市総合コミュニティセンター

内容：特別講演、合同シンポジウム、合同ミニシンポジウム、

一般演題、女性医師の会特別企画

専門医セミナー：41 名（会長：田中 良憲）

演題：41 題

参加：340 名

【九州支部】

第 123 回例会（福岡）

会長：平田 敬治（産業医科大学 医学部 第 1 外科）

会期：2024 年 6 月 21 日（金）～ 22 日（土）

会場：北九州国際会議場

内容：特別講演、女性医師の会特別企画、シンポジウム、一般演題

専門医セミナー：51 名

演題：240 題

参加：945 名

第 124 回例会（鹿児島）

会長：大塚 隆生（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器外科学）

会期：2024 年 11 月 15 日（金）～ 11 月 16 日（土）

会場：ライカ南国ホール・TKP ガーデンシティ鹿児島中央

内容：特別講演、特別企画、シンポジウム、ワークショップ、一般演題

専門医セミナー：120 名

演題：222 題

参加：905 名

●附置研究会

・成人移行支援のあり方研究会

・Interventional IBD 研究会

●関連研究会

・肥満と消化器疾患研究会

・がんゲノム医療時代における Lynch 症候群研究会

・Gut Microbiota 研究会

・消化管ポリポーシス研究会

・消化器臓器間ネットワーク研究会

・アレルギー消化器疾患研究会

（2）学会機関誌等の刊行

機関誌の名称

●日本消化器病学会雑誌（月刊）

年間 12 回発行（電子書籍サービス MED PORTAL）

第 121 巻 1 号～12 号

●同 臨時増刊号（総会、大会抄録号）

年間 2 回発行（総会：4,650 部/大会：4,100 部）

●Journal of Gastroenterology（Monthly）

年間 12 回発行（各 4,500 部/Online Journal）

Vol. 59 (No. 1~12)

●Clinical Journal of Gastroenterology (Bimonthly)

年間6回発行 (Online Journal)

Vol. 17 (No. 1~6)

掲載内容

●日本消化器病学会雑誌 (第121巻)

掲載論文の種類	論文数	頁 数
総説 (投稿)	0	0
今月のテーマ (総論) *115 巻 3 号から	12	100
今月のテーマ (総説) *115 巻 3 号から	49	412
原著	3	31
症例報告	41	340
特別寄稿	2	8
Letters to the Editor	0	0
症例に学ぶ	0	0
速報	0	0
小計	107	891
座談会	2	21
Q & A	12	46
特別企画	0	0
総会抄録号 (プログラム、抄録、索引)		634
大会抄録号 (プログラム、抄録、索引)		646
小計	24	1,347
総会・大会プログラム		500
専門医規則・合格者		77
事業計画・報告		79
研究助成		13
関連研究会		4
日本医師会		0
日本医学会		0
支部会告		91
他学会案内		0
査読者一覧		1
編集後記		12
住所変更		24
投稿規定		120
その他		445
総目次		23
索引		9
小計		1,398
総数	131	3,636

●Journal of Gastroenterology (Volume 59)

Contents	Articles	Pages
Review	7	115
Alimentary Tract	38	461
Liver, Pancreas, and Biliary Tract	42	511

Letters to the Editor	18	30
Announcements & Others	8	20
Total	113	1137

2023 年の Impact Factor: 6.9

●Clinical Journal of Gastroenterology (Volume 17)

Contents	Articles
Clinical Reviews	2
Case Reports	176
Original Article	1
Letters to the Editor	2
Correction (Erratum)	3
Total	184

2023 年の Impact Factor: 0.8

投稿論文の審査状況

●日本消化器病学会雑誌 (投稿総数: 50 編 / 採否済数: 33 編)

採 択 率: 78.8% (26 編)

不採択率: 21.2% (7 編)

※審査中論文があるため、採否率は変動の可能性がある。

●Journal of Gastroenterology (投稿総数: 2096 編 / 採否済数: 2065 編)

採 択 率: 6.1% (125 編)

不採択率: 93.9% (1940 編)

※審査中論文があるため、採否率は変動の可能性がある。

●Clinical Journal of Gastroenterology (投稿総数: 597 編 / 採否済数: 597 編)

採 択 率: 28.8% (172 編)

不採択率: 71.2% (425 編)

※審査中論文があるため、採否率は変動の可能性がある。

(3) 教育講演会等の開催

消化器疾患の診断、治療に関する医師補修教育講演会等の開催および専門医育成のための講習の実施ならびに講演会等の開催。

地区別	開催地 (月 日)	回	テーマ、演題名	参加
北海道	札幌 (3.16)	26	胃癌薬物療法の新たな潮流、他	88
東 北	Web 開催 (10.12)	26	上部消化管腫瘍に対する内視鏡・腹腔鏡合同手術、他	133
関 東	Web 開催 (6.2)	44	最新&細心消化器病診療	541
	Web 開催 (11.17)	45	最近の消化管疾患診療	608
甲信越	長 野 (5.25)	51	日本人腸内マイクロバイームと生活習慣・病気のクロストーク、他	230
	長 野 (10.12)	52	肝硬変の基本的治療 ～栄養療法と運動療法～	206
北 陸	福 井 (6.16)	50	ピロリ未感染と除菌後胃癌の特徴、他	153
	石 川 (10.20)	51	大腸癌治療の進歩～ガイドライン改定を踏まえて～、他	132
東 海	愛 知 (6.22)	51	消化器外科領域におけるロボット手術の現状～大腸癌領域を中心に～他	154
	三 重 (11.16)	52	食道癌診療の up-to-date、他	162

近 畿	兵 庫 (1. 27)	74	消化器癌に対する粒子線治療の今、他	84
	Web 開催 (7. 21)	75	機能性ディスペプシア診療の up to date、他	288
	京 都 (9. 28)	76	胆膵内視鏡診療の最前線～病態に基づいた効率的なアプローチ～	108
中 国	鳥 取 (6. 9)	39	上部消化管術後の体重減少に対するグレリン/経口アナログの可能性について	49
	岡 山(12. 15)	40	食道治療に対する集学的治療～内視鏡医にできることへ、他	66
四 国	香 川 (7. 7)	45	胃炎の診療－ <i>Helicobacter pylori</i>	109
	Web 開催 (11. 17)	46	胃炎から自己免疫性胃炎まで、他 消化器疾患診療のエッセンス	141
九 州	Web 開催 (2. 18)	29	消化器・肝臓専門医が知っておくべき非アルコール性脂肪性肝疾患とその関連病態、他	387
参加者計				3, 639 名

(4) 研究助成及び業績の表彰

消化器病学の基礎及び臨床において優れた業績をあげると共に、本学会の発展に貢献した研究者に対し授与しその業績を顕彰する賞。

学術賞 (1 名)

- ・川 茂幸 (松本歯科大学)
自己免疫性膵炎における IgG4 関与の解明と IgG4 が関連する全身性疾患の提唱、ならびに IgG4 関連疾患の疾患概念確立への貢献

消化器病学の基礎及び臨床分野において優れた業績をあげた女性研究者に授与し、その功績を顕彰し消化器病研究における女性の地位向上を目指す。

女性研究者賞 (2 名)

- ・前田 啓子 (名古屋大学医学部附属病院消化器内科学)
腸管上皮細胞を中心とした多細胞相互作用の解明と治療応用
- ・井上 貴子 (名古屋市立大学病院中央臨床検査部)
新規の B 型肝炎ウイルス再活性化マーカー「高感度 HB コア関連抗原測定系」の開発と実用化・その臨床的有用性の評価

消化器疾患の研究者に対する研究助成。

研究助成者 (8 名)

2024 年から (1 年目)

- ・江崎 幹宏 (佐賀大学医学部内科学講座消化器内科)
クローン病術後再発予測因子と再発予測モデルに関する検討—機械学習の応用を含めて
- ・加藤 元彦 (慶應義塾大学内視鏡センター)
十二指腸粘膜下層剥離術後粘膜欠損部の縫縮の有効性を検討する観察研究
- ・吉田 直久 (京都府立医科大学消化器内科)
大腸癌の診断契機、リスク評価把握のための前向き登録観察研究 (CRC-DR study)

2023 年から (2 年目)

- ・芥田 憲夫 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院肝臓内科)
NAFLD 病態・治療とゲム・エゲム解析; リットバイオプシーの臨床応用
- ・志村 貴也 (名古屋市立大学病院消化器内科)
食道表在癌の最適な治療選択のための革新的血清バイオマーカーの検証

2022 年から (3 年目)

- ・高橋 賢治 (旭川医科大学内科学講座病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野)
DNA 変異と RNA 発現解析を統合したマルチレイヤー膵癌体液診断法の開発
- ・松本 啓志 (川崎医科大学消化管内科学)
消化管アレルギーと消化管粘膜関連細菌叢の関連性および粘膜免疫機序解明とそれを利用した新規治療の開発
- ・渡辺 憲治 (富山大学附属病院炎症性腸疾患内科)
日本人炎症性腸疾患患者における COVID-19 ワクチン接種に対する免疫応答と安全性の検討によるワクチン接種の適性化: 多施設共同前向き研究 (J-COMBAT)

会員の研究を助成する目的 (学術研究助成金制度により) で、消化器病学の発展に寄与する研究を発表し、なお将来の発展を期待しえる者に対し「日本消化器病学会奨励賞」を授与し表彰した。

第 37 回奨励賞受賞者 (10 名) (五十音順)

- ・門 輝 (東京大学大学院医学系研究科器官病態内科学 消化器内科学)
Noninvasive approach to indicate risk factors of nonalcoholic steatohepatitis overlapping autoimmune hepatitis based on peripheral lymphocyte pattern
(Journal of Gastroenterology 2023; 58: 1237-1251)
- ・酒井 規裕 (新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野)
Letrozole ameliorates liver fibrosis through the inhibition of the CTGF pathway and 17 β -hydroxysteroid dehydrogenase 13 expression
(Journal of Gastroenterology 2023; 58: 53-68)
- ・多田 藤政 (愛媛県立中央病院消化器病センター内科)
Efficacy and safety of atezolizumab plus bevacizumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma patients with esophageal-gastric varices
(Journal of Gastroenterology 2023; 58: 1134-1143)
- ・田中 雄志 (神戸大学大学院医学研究科内科学講座 消化器内科学分野)
Integrated analysis of tertiary lymphoid structures in relation to tumor-infiltrating lymphocytes and patient survival in pancreatic ductal adenocarcinoma
(Journal of Gastroenterology 2023; 58: 277-291)
- ・富丸 慶人 (大阪大学大学院医学系研究科外科学講座消化器外科学)
Standard versus delayed initiation of S-1 adjuvant chemotherapy after surgery for pancreatic cancer: a secondary analysis of a nationwide cohort by the Japan Pancreas Society
(Journal of Gastroenterology 2023; 58: 790-799)
- ・西村 友佑 (北海道大学大学院医学研究院 内科学講座消化器内科学)
Application of polyglycolic acid sheets and basic fibroblast growth factor to prevent esophageal stricture after endoscopic submucosal dissection in pigs
(Journal of Gastroenterology 2023; 58: 1094-1104)

- ・八田 和久（東北大学大学院医学系研究科消化器病態学）
Treatment strategy after noncurative endoscopic resection for early gastric cancers in patients aged ≥ 85 years: a multicenter retrospective study in a highly aged area of Japan
(Journal of Gastroenterology 2023; 58: 346-357)
- ・横手 章人（九州大学大学院病態機能内科学第二内科）
Ferroptosis in the colon epithelial cells as a therapeutic target for ulcerative colitis
(Journal of Gastroenterology 2023; 58: 868-882)
- ・吉田 裕幸（京都大学大学院医学研究科・消化器内科学）
Anti-integrin $\alpha v \beta 6$ autoantibodies in patients with primary sclerosing cholangitis
(Journal of Gastroenterology 2023; 58: 778-789)
- ・渡邊 諭（東京医科歯科大学消化器内科）
Organoids transplantation as a new modality to design epithelial signature to create a membrane-protective sulfomucin-enriched segment
(Journal of Gastroenterology 2023; 58: 379-393)

（５）市民公開講座の開催及び市民向け健康情報誌の発行

消化器疾患に対する一般国民の関心を高める目的（研究成果の社会還元）で、下記の事業を実施。

①市民を対象に易しい医学講座「市民公開講座」を全国各地で開催。

地区別	開催地(月 日)	回	テーマ	参加
北海道	函 館(7.27)	61	大腸がんを知ろう	139
	苫小牧 (9.28)	62	もっと知ってほしい大腸がんのこと -最新の診断、治療について-	60
東 北	岩 手(9.29)	93	口腔がんと食道がんについて	131
	宮 城(10.13)	94	胃がん・大腸がん診療の最前線 ～診断から内視鏡治療、ロボット手術、抗がん剤まで～	31
	秋 田(10.19)	95	健康長生きのためにお腹のコト学びましょう！	53
関 東	栃 木 (6.29)	131	おなかの病気と食事・運動	162
	神奈川 (6.29)	132	消化器がんにならないために	555
	埼 玉 (10.5)	133	消化器がんを知ろう	181
	群 馬 (11.23)	134	気になるお腹の病気 - ならない予防となつてからの治療	105
	東 京 (11.30)	135	消化器がんの早期発見と治療 ～専門医が教えます～	68
甲信越	新 潟 (11.10)	85	肝・胆・膵 ～難治がんの克服に向けて（現状と今後の展望）～	51
	山 梨 (9.14)	86	おなかのがん―早期発見と最新治療	89

北 陸	福 井(3.18～4.14)	87	おなかの検査で異常があると言われた時 ～ どうする？ ケーブルTV加入：約22 万世帯	
	福井ケーブルテレビ および こしの都ネット ワーク放映			
	石 川 (5.12)	89	健康診断で異常を指摘されたら -がんを早期発見し、からだごと優しい治療で治そう-	60
	福 井(8.31)	90	あなただけのおなかの悩み解決します	55
東 海	富 山 (10.11～11.7)	91	おなかの病気を知ろう ～予防から治療まで～ ケーブルTV加入：約2.5 万世帯	
	地域ケーブルテレビ、You Tube(web 配信)			
	愛 知 (6.23)	131	ここまできた！おなかのがん治療	81
	愛 知 (9.29)	132	知っておきたい おなかの病気 ～新しい診断と治療～	84
近 畿	岐 阜 (10.20)	133	明日から役立つ おなかの病気	134
	三 重 (11.17)	134	身近なおなかの病気の最新情報 ～診断と治療～	51
中 国	大 阪 (3.24)	70	生活習慣と消化器疾患	45
	奈 良 (9.7)	71	知ってもらいたい！ おなかの病気あれこれ	17
四 国	鳥 取 (6.9)	93	聞いてごしない！がんの話	230
	岡 山 (12.15)	94	知っておきたい！ おなかの病気の今！	62
九 州	愛 媛 (9.14)	103	消化管治療最前線	37
	高 知 (9.28)	104	知っておいてほしい お腹の病気	65
	徳 島 (9.29)	105	聞いて得するおなかの病気講座 -たかが〇〇、されど〇〇-	93
	香 川 (10.6)	106	もっと知りたいおなかの病気	67
合 計	福 岡 (5.25)	119	専門医が教える！お腹のがんのはなし	118
	鹿児島 (5.26)	120	おなかの病気で困ったときは？ -専門家が教える診断と治療の最前線-	130
	大 分 (9.8)	121	よくわかるお腹の病気のおはなし	53
	長 崎 (10.13)	122	知っておきたいお腹の病気のこと ～最新治療について～	109
合計 32 回開催／市民の参加合計				3,116 名

②市民向けの健康情報誌「消化器のひろば」を年2回発行した。

（第24号：129,000部を発行、1,214施設及び市民公開講座で配布）

（第25号：129,000部を発行、1,206施設及び市民公開講座で配布）

③ホームページ（インターネット）による健康情報の提供。

（６）消化器病専門医の認定に関する事業及び認定試験の実施

消化器病専門医認定試験の実施、並びに審査、認定（専門医、指導医、認定施設、関連施設）

- 第34回専門医試験（2024年10月6日（日）：CBT試験）
申請：919名、受験：891名、合格：813名、合格率：91.2%
- 指導医、認定施設、関連施設の審査（新規）
指導医：460名、認定施設：22施設、関連施設：29施設、
特別関連施設：3施設
- 専門医、指導医、認定施設、関連施設の審査（更新）
専門医：4,731名、指導医：967名、認定施設：146施設、
関連施設：18施設、特別関連施設：2施設
- 2024年度末における専門医等の数
専門医：23,583名、指導医：6,100名、認定施設：1,080施設、
関連施設：412施設、特別関連施設：54施設

（7）若手研究者支援事業

- 若手研究者のための留学支援事業
目的：消化器病学に関する国際学術交流の推進を目的に、若手研究者の留学を支援する。
阿部 紘大（慶應義塾大学医学部外科学教室（一般・消化器外科））
岡本 憲明（東京大学大腸肛門外科）
佐野 晃俊（東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野）
高橋 純一（東京医科歯科大学 消化器内科）
- 若手研究者のための国際学会参加費用の一部助成事業
目的：消化器病学に関する国際学術交流の推進を目的に、若手研究者の国際学会の参加費用の一部を助成する。

DDW

- 赤澤 悠（福井大学医学部付属病院 第二内科）
- 市田 親正（湘南鎌倉総合病院 消化器病センター）
- 小田総一郎（北海道大学大学院医学研究院内科学講座消化器内科学講座）
- 小林 玲央（京都府立医科大学 消化器内科）
- 佐野 泰樹（関西医科大学 消化器内科学）
- 篠田 崇平（山口大学医学部付属病院 第一内科）
- 堀内一太郎（信州大学医学部付属病院 消化器内科）
- 増田 寛喜（日本医科大学 消化器外科学）
- 三浦 崇裕（山形大学医学部 内科学第二講座）

APDW

- 青木 康浩（東京医療センター）
- 圓谷 俊貴（富山大学学術研究部医学系内科学3）
- 大野 彰久（九州大学大学院医学系学府）
- 茅島 敦人（東京医療センター）
- 川中 滉貴（富山大学付属病院第3内科）
- 黄 哲久（神戸大学消化器内科）
- 小林三四郎（関西医科大学付属病院 消化器肝臓内科 内視鏡センター）
- 高田 和典（静岡がんセンター内視鏡科）
- 平田 一成（広島大学病院）
- 村田 祥磨（慶應義塾大学医学部 消化器内科）

UEGW

- 高橋 秀和（名古屋大学大学院）
- 高橋 彩月（千葉大学医学部付属病院）
- 小栗 典明（杏林大学医学部消化器内科学）

- 齋藤 宏章（福島県立医科大学放射線健康管理学講座）
- 黒杉 茜（千葉大学医学部付属病院 消化器内科学）
- 佐々木慎子（名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学）
- 伏見 咲（平鹿総合病院）
- 沼田 結希（愛媛大学医学部付属病院）

（8）国際協力事業

- JSGE Research Fellowship Program Award（臨床研修制度）
目的：国際協力事業として、アジア太平洋地区の医師（37歳以下）に臨床研修の機会を提供する。
期 間：3～5ヶ月間（任意（2024年7月～11月））
研修医：2024年度、アジア太平洋地区の医師3名を下記施設で受け入れた。
 - ・Dr. Wiqas AHMAD（32歳）
Specialist Registrar, Gastroenterology Department,
Hayatabad Medical Complex Peshawar (Pakistan)
研修施設：京都府立医科大学 消化器内科
（指導：小西 英幸 准教授）
 - ・Dr. Munkhsaruu BAYARAA（28歳）
Attending physician, Gastroenterology and Endoscopy
department, Ulaanbaatar Songdo hospital (Mongolia)
研修施設：がん研有明病院 上部消化管科
（指導：由雄 敏之 食道担当部長）
 - ・Dr. Duc Van PHAM（34歳）
Physician, Gastrointestinal Endoscopist, Ph.D. candidate, 19-8
Hospital, Ministry of Public Security (Vietnam)
研修施設：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学
（指導：川嶋 啓揮 教授）

（9）その他の事業

- JDDW2024（神戸）（共催）
会期：2024年10月31日（木）～11月3日（日）
会場：神戸コンベンションセンター
参加：5学会
日本消化器病学会
日本消化器内視鏡学会
日本肝臓学会
日本消化器外科学会
日本消化器がん検診学会
内容：各種演題、主題演題、一般演題、その他
詳細：「JDDW2024プログラム」、「第66回大会抄録集」に記載